

オバマ米大統領、インターリンクでドメイン.obama を申請 ～Yes, We Can! Change The Domain World!～

4月1日、オバマ米大統領はホワイトハウスにて、日本のインターネットサービスプロバイダーである株式会社インターリンクで、ドメイン.obama を申請したことを明らかにした。申請にあたっての演説で、オバマ大統領は「私が.obama を申請することで、独自のトップレベルドメインを自由に取得できるようになったことを、合衆国大統領の私がまず先に証明した」と述べた。

オバマ大統領が就任後、独自のドメイン申請について言及したのは今回が初めて。今回、オバマ大統領が.obama を申請した背景には、2008年にICANN(※)がトップレベルドメイン自由化を承認した経緯と、現在オバマ政権に招集されている、元 ICANN 理事のスーザン・クロフォード教授の影響もあると思われる。自由の国アメリカらしく、トップレベルドメインにも自由を求めるオバマ大統領の今回の申請は、大きな波紋を呼びそうだ。取得完了後オバマ大統領は、自身のすべての情報を.obama に集約すると思われる。

hitstory.obama で自身の経歴を、books.obama で自身に関する書籍を集めるなど、トップレベルドメイン所有者ならではの活用が予想される。また、支持者に無料でメールアドレスを配布することも検討されている模様。

今回オバマ大統領のドメイン申請を代行した日本の株式会社インターリンクは、世界規模で『Word Domain Cup(ワールド ドメイン カップ)』の開催を予定している。当コンテストで選ばれた独自トップレベルドメインの考案者には、その売り上げの一部を得られる権利が用意されている。仮にその報奨金が1ドメイン当たり1ドルだとすると、.comドメインのように8千万ドメイン登録(2008年末現在)されると、8千万ドル(約80億円)と、とてつもなく莫大である。詳細は後日 <http://www.worlddomaincup.com> にて正式発表されるということなので、注目していきたい。これはドメインが起こす史上初の「ゴールドラッシュ」であり、チャンスは参加者全員に平等に与えられている。

※ICANN

インターネット上で利用されるアドレス資源(IP アドレス、ドメイン名、ポート番号など)の標準化や割り当てを行なう組織。IANA の後継にあたる民間の非営利法人である。

【注意】(記事化の際には、以下のウェブサイトを必ず御覧下さい。)

ホワイトハウスで行われたオバマ大統領のスピーチ全文は下記 URL から閲覧できます。

<http://www.interlink.or.jp/obama/>

『Word Domain Cup(ワールド ドメイン カップ)』の開催については、<http://www.worlddomaincup.com> をご確認ください。

<会社概要>

◆株式会社インターリンク (<http://www.interlink.or.jp/>)

日本のインターネット黎明期である1995年よりサービスを開始した、今年で14年目を迎える老舗ISP。2006年10月、日本で8社目のICANN公認レジストラに認定。より快適なインターネット接続環境を提供すると共に、インターネットを通じた社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。又、グループ会社の株式会社廻船問屋でも、携帯待受画像購入が募金につながる「マチウケル！」を提供中です(詳細:<http://machiukeru.jp/>)。

【最近のニュースリリース】

2009.3.25 『第4回あなたが選ぶオタク川柳大賞』結果発表 <http://www.interlink.or.jp/new/pdf/p70.pdf>

●本リリースに関するお問合せ先●

株式会社フロンティア・エンタープライズ(株)インターリンク、(株)廻船問屋 広報事務局) 担当/磯部

TEL.03-5770-5670 FAX.03-3796-0430 E-mail: isobe@frontier-e.co.jp